

VIDEO SHOWING + INSTALATION

Camembert

April

19

20

21

22

23

24
Sat

25
Sun

at SHINKU-CLUB in KYOTO

© CAMEMBERT SCREW 

VIDEO SHOWING + INSTALLATION

Camembert

新たな始まり

やはり時間はむだに過ぎてはいなかった。ついこの前まで黄色い口ばしのひよっ子だった彼等も、いまや頼もしい翼をはばたかせていっせいに巣立とうとしている。京都芸術短期大学映像専攻科5期生の修了制作は、立ちあがりが遅くて内心やきもきさせたわりには、いずれも学生生活の総決算と新たな門出にふさわしい見応えのあるものに仕上がっていた。それらを中心に身近な仲間の2、3の作品を加えたのがこのグループ展である。私が感心したのは、各自が自分自身のこだわりをはっきり持っていて、しかも自分にとっての新しい課題に自覚的に挑戦していたことだ。その主体的な欲求と実践力の体得こそ大学生生活の成果でなくて何だろう。ともあれこれは終りの確認である以上に新たな始まりの表明である。彼等がそれぞれの場で、努力し、持続させ、一人前の作家になってくれることを祈らずにはおれない。

松本 俊夫(映像作家)

原神 玲 Rei Harakami (1970年生)

『はじまり』(V)『波』(V)『カエルのジョニー』(V)『山からきたくじらやろう』(V)

☆『そしてそれは、それ以上でもないし、それ以下でもない。』(V)

桜井直高 Naotaka Sakurai (1967年生)

『夜明けの晩に』(V)『ちょっと屋上に来てごらん』(V)『夜中に僕は変な事を思い出した』(V)

☆『ムダマラ』(V)

村井 彩 Aya Murai (1970年生)

『鉱物』(V)『彩』(V)『窓』(V)『夕方のにおい』(V)

☆『未熟のヒナ』(V)

L.S.Radeloff (1970年生)

『Sleepingman』(V)『Wing of the stone』(V)『真昼の表質』(V)

☆『キャンディ・サーカス・オルゴール』(V)

平井治子 Haruko Hirai (1970年生)

『扉をぬけて-ROME.ITALY.KYOTO.JIAPPONE』(V)『そして誰もいなくなった』(V)

☆『ゴトウヒロミ・珈琲天国』(V)

木下順子 Junko Kinoshita (1970年生)

『回想』(V)『GROWING』(V)『空き家』(V)『なみま』(V)

☆『鼠の瞳』(V)

由良泰人 Yasuto Yura (1968年生)

『現代ヘロリズムを考える。』(V)『下山田君と僕』(V)『ビデオ宗教学人・オロロン教入信準備号』(V)

☆『THE HOLE』(V)

酒井一貴 Kazutaka Sakai (1970年生)

『僕は卓子の上に』(V)『蛍光灯の下で』(V)

☆『1992年のキャッチボール』(F)

木村隆志 Takashi Kimura (1971年生)

『M・S・M』(V)『でうれ』(V)『マイクロマクロ』(I)

☆『エコー』(I)

寺山直哉 Naoya Terayama (1968年生)

『錆びない錆』(V)『DEEP INSIDE』(V)『BORDER』(I)

☆『嘘の裏側(今夜の部品)』(I)

馬野訓子 Noriko Umamo (1970年生)

『in』(F)『ドウタイセン』/林 圭太との共作(F)『RENTAL VOICE』/林 圭太との共作(I)

☆『180°の記憶』(I)

* (V) = ビデオ作品, (F) = フィルム作品, (I) = インスタレーション
☆ = 今回の出品作品



料 金 : 無 料

問 合 せ : 吉本陽一/夜10時以降 (075)711-9438

会 場 : 真空クラブ(075)344-4092
河原町通四条下ル三筋目東入ル地球屋2F

1993年4月19日(月) - 4月25日(日)

OPEN AM12:00 - PM8:00(最終日はPM7:00迄)